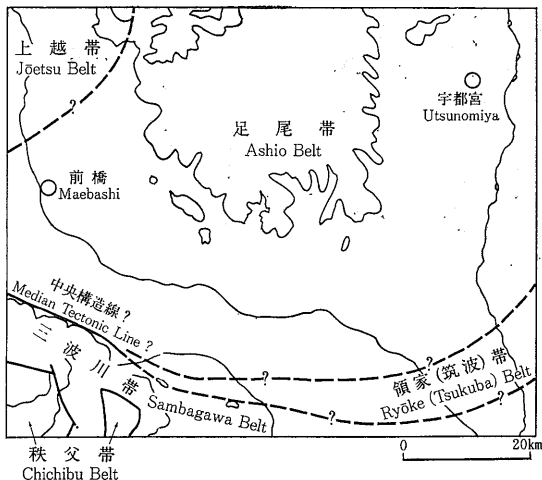


地質情報

地質調査所
地質情報センター



1990年度発行の20万分の1地質図

地質調査所発行の20万分の1地質編集図は、1990年度には「敵原」「八戸」「岩内」「宇都宮」が刊行されました。

「敵原」は、長崎県対馬全域を含み、漸新世—中新世前期の対州層群が全域に分布しています。対州層群は、北東—南西方面の向斜軸—背斜軸がくりかえす泥岩および泥岩砂岩互層からなり、中新世の石英斑岩・ドレライトなどの岩脈および内山花崗岩に貫かれ、熱変成をうけています。鉛・亜鉛・陶石などの鉱山があります。

「八戸」は、青森県十和田市・八戸市、岩手県久慈市などを含む地域です。地質は、北部北上山地の後期古生代—中生代堆積岩類、白亜紀の花崗岩を主体とする貫入岩類、後期白亜紀—古第三紀の久慈・野田層群、末の松山層・舌崎層などの新第三紀堆積岩類、鮮新世火山岩類、八戸火砕流堆積物などの第四紀火山噴出物などから

20万分の1地質図「宇都宮」地域の地体構造区分。

構成されています。

「岩内」は、北海道中央西部の積丹半島・小樽・余市・倶知安・寿都を含む地域です。地質は、新第三紀のグリーンタフ地域の堆積岩類・貫入岩類とニセコ・羊蹄山などの第四紀火山岩類から構成されています。金・銀・銅・鉛・亜鉛・マンガンなどの鉱床が多数存在しています。

「宇都宮」は、足尾山地・関東山地・鬼怒川・利根川・赤城山などがあり、前橋・高崎・古河・下館などを含む関東平野北端部と山地の境界地域です。地体構造区分を図に示しますが、新第三紀・第四紀の地層も細かい区分がされています。

時代	西部地区				中央北部地区		東部地区
	寿都 (3)	歌葉 (4)	長万部 (25)	積丹広域 (21)	余別・積丹岬 (49)	国富—定山溪 (5)	
更新世	歌島層	尻別川層	瀬棚層	野塚累層	野塚層	西野層	
鮮新世	ガロ川噴出物層	賀老川火山岩類	ガロ川火山岩類 磯谷	余別累層	余別層	倶知安層群	
	水豊層	永豊層					黒松内層
中新世	後期	寿都層 折川層	折川層 磯谷層	八雲層	豊浜累層 古宇川累層	尾根内層	古平層群
	中期—前期	大平川層					
新世				茅沼累層		定山溪層群	

()内の数字は文献番号

20万分の1地質図「岩内」の新第三紀層対比表。